

# 2021年度事業報告書

特定非営利活動法人で・あ・い

## I. 事業期間

2021年4月1日～2022年3月31日

## II. 事業の成果

2021年度の事業は、障害者市民、高齢者市民の人権擁護、人権啓発のための活動を主流としていき、障害者市民、高齢者市民の地域生活の充実を図るとともに、障害者市民の人権、差別とはなんなのか？差別をなくすためにはどうすればいいのか？みんなが幸せになるために私たちにできることは？を基本に活動を行ってきました。

本法人が主たる事業としている障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス生活介護事業ですが、2021年はこれまでの13人の利用者の方々と活動を行ってきました。昨年度同様新型コロナウイルス感染防止のため様々な活動が中止を余儀なくされ、支援活動、生産活動に影響を受けました。マスクの着用、手洗い、消毒、検温、室内の換気、複数の方々が触れる場所の消毒、食事の際のパーテーション設置などできる限りのことを行ってきました。感染者数が1万人を超える日々もあり、状況に慣れてしまっただけではいけないと気を引き締める日々が続きました。であ일랜드の皆さんは3回目ワクチン接種も2月中に終え、そのお家の方、サポーターの方やスタッフ等にも感染防止に努めていただき、不要不急の外出、外食もやめていただくようお願いもしてきました。濃厚接触者になったかたもおられました、誰一人感染することなく過ごすことができました。皆様のご協力に感謝するばかりです。

利用者の方々については、個々に担当者が日々の様子をサービス提供記録に残し、連絡帳やメール、電話でご家族の方々や自立生活を支えるサポーターの方々との連絡を密にし、体調不良時は無理せず休んでいただき、来ている方には近くの病院へ受診するなどの対処をしてきました。精神的に不安な場合もゆっくりとお話を伺い少しでも気持ちが楽になれるように努めてきました。個人面談につきましては感染防止を考慮し、希望者のみとさせていただきます。大半の方々は日時、場所を決めず、様々な方法でご本人、お家の方との対話を行いました。豊中支援学校の事業所説明会や中学校からの職場体験も行われず、研修旅行も中止になりました。そんな中、昨年大きな手術を受けその後の回復が順調で完治した人、激しい自傷行為のため入院していましたが、5月には退院してであ일랜드に戻ってきた事など朗報もいくつかありました。外部の方をお誘いするようなイベントは行わず、であ일랜드のいつものメンバーだけのお餅つき、小さなクリスマス会を行いました。

生産活動では体にやさしい食品、島根県のほんき村や高知県高生連から仕入れているお米、アピカのノート、奈良県川上村の手作りこんにゃくと木のぬくもりを肌で感じる事ができる木製品の販売、卒業式の鉢植え、花束、タオルの洗濯などは昨年同様の売上がありました。イベントについてはコロナ禍でほとんどの行事が中止となってしまいましたが、なかまの店での売り上げがわずかながらも戻ってきました。ただ、月々の工賃は維持できましたが、賞与についてはまだまだ元には戻ることができませんでした。その上、設立当初から25年間私達の昼食を支えてくれていたCookde 愛さんが12月末をもって閉店しました。1月からは「キッチン」として新しく3人の方々がであ일랜드の中で昼食を作ってくださいことになりました。ただ、利用者の方々の工賃の大半を占めていたCookde 愛さんからの配達料がなくなったことは痛手ですが、今後も皆さんと頑張っていきたいと思っています。

防災については9月23日に大雨洪水時のハザードマップを見ながら、自分たちの住まいにどんな危険があるのかを確認しながら講習会を開催しました。2022年3月には地震発生と仮定し避難訓練を実施しました。また、人権講演会としては人間解放シリーズ「自分と向き合う」第11弾を少人数で開催しました。

自立支援としては、本法人が運営するステップハウスでは2の方が自立生活を送っています。であ일랜드の職員とサポーターを派遣しているサポートネットワークの職員とで連絡を取り合い、状況確認と問題点の解決を行い、より良い環境で生活出来るように活動してきました。女性利用者1名、男性利用者2名の自立生活についても変わりなく安定しており、本法人が日常を支える一端として家族、サポーターの方々と連絡を密にしながらの支援を行ってきました。10月からは2名の女性が刀根山のマンションで自立生活を始めました。ステップハウスのように1事業所だけではサポートを賄いきれず、2つ目の事業所と共同して自立を支えています。この自立については移動支援で顔なじみだった人がサポーターの一人だったこと、宿泊体験を数多く重ねてきたこともあり、新しい事業所のサポーターであっても混乱することなく、生活を過ごせています。11月末からは男性1名がグループホームに入所しました。少しずつ新しい生活に慣れてきています。また、来年度より自立に向け2名の男性がステップハウス2（ステップハウス桜）として中桜塚のマンションでの準備をすすめています。この自立についても1事業所では不可能で3事業所が協力して実施することになります。合計10人の方々が自立することとなり、これからは、それぞれの事業所がお互いのサポーターを必要に応じて派遣する時代になり、どの事業所が主体となって動くのかが課題になってくると思います。3つの事業所とグループホームも人員不足の中、それぞれの利用者の方々の自立を支えるためにご尽力をいただいております。今後も平常時は、もちろんのこと不定期、緊急時にも対応できるように努力していきます。

次年度に向けても平常時のみならず、今回のような非常時に向けてたくさんの課題に対応できるように気を引き締め、本法人が目的としている「差別をなくすため」「みんなが幸せになるために私たちにできること」を常に念頭に置き活動を続けていきます。

### Ⅲ. 事業の実施に関する事項

#### 1 特定非営利活動に係る事業

①（事業名） 障害者市民、高齢者市民の人権擁護、人権啓発のための相談、関係機関への働きかけ及び障害者市民の自立生活への支援・就労雇用支援・アドバイス・情報提供・各種相談

（内 容）事務局に相談窓口を設け、電話等での相談を受け、必要に応じて、関係機関との連携で個々の課題に対処する。

（事業場所）豊中市箕輪2-12-1

（実施日時）2021年4月1日から2022年3月31日

（事業の対象者）8人

（収 益）	家賃（固定）	52,000円×12ヶ月×2人	1,248,000円
	利用料（不定期）	1,700円×288回	489,600円
	食事代		487,990円
	計		2,225,590円

(費用)	賃借料(家賃) 77,000円×12ヶ月	924,000円
	光熱水費	506,600円
	食費	492,929円
	消耗品費	55,565円
	保健衛生費	1,364円
	通信費	73,036円
	火災保険料	20,000円
	雑費(自治会費)	2,800円
	計	2,076,294円
		149,296円

箕輪の一戸建て住宅での自立生活は落ち着いてきています。

②事業名 福祉、介護保障などの実践的市民フォーラムの開催

(内容) 障害者市民・高齢者市民を取り巻く様々な人権問題、制度について、より多くの市民に理解を深めてもらえるよう、イベント、フォーラム、講習会など企画し、開催する。

(実施場所) 豊中市春日町3-6-8

(実施日時) 1回目 2021年 9月23日(祝・木) 10時から12時

2回目 2021年12月12日(日) 16時30分から17時30分

(事業の対象者) であいランド利用者、職員

(収益) 1回目 参加費 3500円

2回目 参加費 0円

(費用) 講師料 10,000円×1人×1回 10,000円

講師料 11,137円×1人×1回 11,137円

-17,637円

資料印刷などは管理費に含まれています。

1回目

防災講習会

日時 : 2021年9月23日(祝) 10時から12時

場所 : 特定非営利活動法人で・あ・い

講師 : 阪口 青葉さん

NPO 法人サポートネットワーク介護福祉士、日本防災士機構防災士、応急手当普及員

参加者 : 28人

今年も緊急事態宣言が出ている中、試食を行わず時間を短縮して行いました。参加者には検温を行い、密にならないよう着席し、換気と消毒を行い、マスク着用で参加していただきました。

今年は豊中市が作成しているハザードマップを用意し、各人の教本として使用しました。ハザードマップは災害時の自宅周辺やであいランドがどのような危険な場所に立地しているのかを確認できました。

大雨の際に浸水してしまう所、がけ崩れの危険がある場所など、自分の家は大丈夫なのか地図上の色分けを見ることでとてもよくわかりました。また、非常時に避難する場所も確認しましたが、場所によって

は自宅から少し距離があるところもあり、決められた場所だけではなく、近くの高いビルや、しっかりした建物に決めておくなど、臨機応変に対策を考える必要があることもわかりました。たとえ近くても状況によっては（道が寸断されたり、建物の倒壊など）たどり着けないこともあるかもしれない、そんな予測のできない時のためにもいろいろなパターンの場所も視野に入れておくことが必要であることなど、あらゆることを話し合う機会となりました。ハザードマップに書かれている災害時の注意事項を改めて確認し、地図で自宅の場所を見ながら考えることができ、これから起きるであろう災害時の様子がリアルに感じることができました。

毎年必ず阪口さんが「避難準備はできていますか？何を用意していますか？」と質問を投げかけてくれます。そのたびに季節に応じて用意する物は大丈夫か？期限が切れていないか？など、改めて準備している非常食や防災グッズについて見直す良い機会となっています。

昨年同様に新型コロナウイルスの影響で様々行事が中止になっていますが、災害はどんな状況でおきるかわかりません。いざという時に備えるためにも欠かすことができないものと考え、実施することにしました。

## 2回目

人権シリーズ講演会 11 法話会

日 時：2021年12月12日（日）16時:30分から17時30分

場 所：NPO 法人であい事務所

講 師：武田達城さん（浄土真宗本願寺派 千里寺住職）

参加者：3名

今年もコロナの影響で会員の方々を招く人権講習会は中止にしていますが、こんな世の中であるからこそ、職員が心豊かに過ごせるようにと法話という形で職員の中から希望者を募り、少人数で開催しました。昨年は完全に中止であったため、久しぶりに武田さんのお話が聞けたのは非常にうれしいことでした。

宗教はいつの世も、どこでも誰にでも広がっている。皆が救われたいと思って宗教に関わる。そして皆がこの世もあの世もいい所であって欲しいと願っている。浄土はなぜ必要なのか？浄土は生きている者の理想である。親鸞は浄土へ行っても直ぐに帰って来ることが仏教であるという。自分だけが幸せになってはいけない、皆が幸せにならないといけない。そのために浄土から戻ってこの世で正しい生き方をやっていくことを伝える。帰って来るとは「亡くなった人の声を聞くこと」であり声を聞くとは、亡くなった人が考えた事やしたことなどの関わり合いになった言葉で、その言葉が自分に働いてくるのだということ。そのことは自分が死んでも自分の生きた証につながる。

今回のお話は、人が亡くなることは悲しいし寂しい事ですが、私たちが亡くなった人の話をすることで、その人が蘇り側にいてくれた空気まで感じるができるということを思いました。武田さんのお話はいつも心を温かくしてくれます。

### ③事業名 障害者市民施策への提言、研究

(内 容) 障害者市民・高齢者市民があたりまえに地域で生きていくための制度、施策について調査、研究し当会が所属する「国障年豊中市民会議」の活動を通じて行政に対して提言と開発を進める。

(実施場所) 豊中市役所内

(実施日時) 年1回

(事業の対象者) 一般希望者約5人(新型コロナ感染防止のため各代表が参加)

(収益) 0円

(費用) 0円

連絡、移動などの諸経費は管理費に含まれています。

昨年同様、たくさんの人が集まっての話し合いは行わず、障害福祉課を介しての話し合いや担当ごとの個別折衝を行いました。今後も障害者があたりまえに生活できる社会を目指して活動していきます。

④事業名 行政、市民団体と協働し、障害者市民、地域社会とのネットワークづくり

(内容) 障害者市民及びそれを取り巻く人々のネットワークを広げていくため、交流会を開催する。

(実施場所) 豊中市春日町3-6-8

(実施日時) 2021年 12月18日(日) 9時から14時

(事業の対象者) であいランド利用者、職員、会員数名

(収益) 参加費 500円×26人 13,000円

(費用) もちつき材料費 19,763円

飲みもの代 3,157円

ー9,920円

コロナ感染拡大により研修旅行はもちろん、もちつき大会や忘年会も2年続きで中止となっており、利用者の皆さん、会員の皆さんも「何かできないか」との思いが募っていたところでした。参加者はいつもの昼食時のメンバーにして、あとは希望するご家族のみで開催しました。食を扱う人を決め、それぞれが一定の距離を保ちながら静かに頂くことを徹底しました。小さなお餅つきでしたが、ご家族が来られたところは普段の悩みを話し合う機会となりました。

⑤事業名 障害者団体への運営支援と実践

(内容) 障害者市民の、所得の確保、介護者の確保等、様々なサービスを提供しつつ障害者市民の自立を目指し、実践している団体の運営支援。

(実施場所) 豊中市春日町3-6-8

(実施日時) 随時

(事業の対象者) 障害者団体

(収益) 0円

(費用) 0円

今年度はありませんでした。

⑥事業名 障害者関係の情報誌発行などによる、各種情報の集積と発信

(内容) 障害者市民・高齢者市民を取り巻く様々な福祉制度、サービスの情報を収集・集積し、より多くの市民に提供すべく、情報誌を発行する。

(実施場所) 豊中市春日町3-6-8

(実施日時) 年1回

(事業の対象者) 一般希望者1000人

(収益) 0円

(費用) 0円

通信費などの諸経費は管理費に含まれています。

⑦事業名 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する為の法律に基づく障害福祉サービス事業

(内容) であいランドに所属する障害のある人達の生活支援、生産活動の機会の提供その他の必要とされる援助等

(実施場所) 豊中市春日町3-6-8

(実施日時) 通年

(事業の対象者) であいランドの利用者13人

(収益)	であいランド(利用者の生産活動の収入)	13,782,930円
	福祉事業(報酬)	37,441,767円
	利用者からの食事代	993,660円
	計	52,218,357円

(費用) であいランド工賃 3,170,000円

内訳(利用者の工賃A) 15,000円×13人×10ヶ月 1,950,000円

(利用者の工賃B) 15,000円×12人×2ヶ月 360,000円

(利用者の工賃C) 7,500円×1人×2ヶ月 15,000円

(利用者の工賃D) 35,000円×13人×1回 455,000円

(利用者の工賃E) 30,000円×13人×1回 390,000円

であいランド(利用者の生産活動の支出) 10,587,293円

福祉事業の支援員の人件費等 27,346,883円

給料手当 21,053,446円

法定福利 3,268,145円

福利厚生 2,153,262円

退職金共済金 872,030円

計 41,104,176円

11,114,181円

その他の経費は管理費に含まれます。

#### IV. 社員総会の開催状況

##### 第1回定時総会

1. 日 時：2021年5月22日  
10時から11時まで
2. 場 所：特定非営利活動法人で・あ・い事務所  
豊中市春日町3丁目6番8号
3. 出席者数：正会員44人中  
出席者 16名（個人会員16人 団体会員0人）  
委任状(書面表決書)26通

正会員総数44人中正会員16人の出席と書面表決書26人分を得たので法人定款27条の規定に基づき、本会は成立すると司会が宣言した。

##### 4. 議長、議事録署名人の選任

特定非営利活動法人で・あ・いの総会を開催するため、上記のと通りの者が出席した。

議長を選出すべく、立候補を求めたところ小川健一郎氏が立候補し、他に立候補するものがなかったため、出席会員の挙手及び意思表示にて小川健一郎氏が選任された。また、同じく議事録署名人の立候補を求めたところ、本日出席の石原朋和氏、村井秀美氏の2名が立候補し、他に立候補するものがなかった。出席会員の挙手及び意思表示にて両名が選任された。後、議長は議長席に着き、10時特定非営利活動法人で・あ・い総会の開会を宣言し、議事に入った。

##### 5. 議事

###### 第1号議案 第2号議案

特定非営利活動法人で・あ・いの2020年度事業報告書、活動決算書の承認に関する件  
議長は、2020年度事業報告、活動決算の報告をするように求めた。総会資料の事業報告書、活動計算書（2020年4月1日から2021年3月31日）と2020年度貸借対照表、財産目録に基づき、竹内裕子氏、小川健一郎氏、村井秀美氏より事業報告と活動計算の報告を行った。報告内容に関して、竹内浩一監事と中谷宏子監事両名の署名捺印の監査報告書を安東文也理事の代読により報告された。議長は、本議案の承認を諮ったところ、書面による議決権行使を含め賛成多数をもって原案どおりこれを承認し、本件は可決された。

###### 第3号議案 第4号議案

特定非営利活動法人で・あ・いの2021年度事業計画書、活動予算書の承認に関する件  
議長は、2021年度事業計画、活動予算についての説明をするように求めた。総会資料の事業計画書、活動予算書（2021年4月1日から2022年3月31日）に基づき、村井秀美氏は、議案書の訂正箇所を報告の上、事業計画書（案）と活動予算書（案）の説明と提案を行った。議長は本議案の承認を諮ったところ、書面による議決権行使を含め賛成多数をもって原案どおりこれを承認し、本件は可決された。

###### 第5号議案

理事再任、監事再任の件

議長は理事再任、監事再任についての説明を村井秀美氏に求めた。村井秀美氏は特定非営利活動法人で・あ・いの理事について竹内裕子氏、石原朋和氏、安東文也氏、村井秀美氏、小川健一郎氏、田代洋和氏、中野正江氏、加味保子氏、吉野いし枝氏が再任の意志を表明していることを会

員に伝えた。また、監事は竹内浩一氏、中谷宏子氏が引き続き再任の意志を表明していることを伝え、本総会にて決することとした。議長が上記理事、監事の再任の件を議場に諮ったところ、書面による議決権行使を含め賛成多数をもって原案どおりこれを承認し、本件は可決された。

## V. 理事会の開催状況V

### 第1回（書面決議）

#### 1. 理事会の決議があったものとみなされた事項の内容

- 第1号議案 2020年度 事業報告の件
- 第2号議案 2020年度 決算報告の件
- 第3号議案 2021年度 事業計画（案）の件
- 第4号議案 2021年度 予算（案）の件
- 第5号議案 役員改選（案）の件
- 報告事項 今後の講演会、行事について

#### 2. 1の事項を提案した理事の氏名

理事長 竹内 裕子

#### 3. 理事会の決議があったものとみなされた日

2021年5月21日

#### 4. 議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名

理事長 竹内 裕子

2021年5月14日、理事長竹内裕子が理事及び監事に対して、上記、議案に関する資料を発送し、当該提案につき5月21日までに理事全員から文書により同意する旨の意思表示を得た。また、監事からは異議申し立てがなかったため、定款第29条に基づき、承認可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

以上の通り、理事会の決議があったものとみなされたことを明確にするため、この議事録を作成し、議事録作成者が記名押印する。

2021年 5月21日

特定非営利活動法人で・あ・い  
議事録作成者 理事長 竹内 裕子

### 第2回

#### 1. 日 時：2021年7月25日（日）

10時30分から11時30分

#### 2. 場 所：特定非営利活動法人で・あ・い事務所

#### 3. 出席者：安東文也、小川健一郎、中野正江、吉野いし江、加味保子 村井秀美、竹内裕子、竹内浩一、中谷宏子（委任状あり）

欠席者：石原朋和、田代洋和

敬称略

#### 4. 報告及び審議事項

- ①活動報告及び会計報告（4月から6月）の件
- ②今後の活動、研修会、講演会実施予定の確認の件
- ③その他報告事項



## 5. 議事の経過の概要及び議決の結果

理事の出席及欠席者を確認し、理事会が成立することが確認された。互選により竹内裕子氏を議長に選び、上記の議案について逐次審議することになった。議長より議事録署名人を2名選任する旨を諮り、小川健一郎氏と村井秀美氏からの挙手があり、承認された。

### 報告及び審議

#### 議案1. 活動報告及び会計報告（4月から6月）の件

であ일랜드の活動としては昨年から入院していた男性利用者が退院し5月から利用が再開された。入院中も自傷行為が無くなってしまいうことはなく、自傷が始まれば拘束という状況が続いていたようだ。退院後は殆ど自傷もなく穏やかに過ごしている。少しずつもとの生活パターンに戻していくことと、自宅以外の場所での生活（自立）を進めていくことになっている。いくつかのグループホームの体験宿泊を行い、自身にとって最適な場所を探していくこととなった。7月には2回目のコロナワクチンを協力医療機関である吉田小児内科で利用者、職員ほぼ全員が接種することができた。感染拡大する中、個人で接種場所を探すのはかなり困難なことであり、吉田医師の協力には感謝するばかりである。生産活動については利用者の方々の工賃にかかわることであるが、コロナ禍においてなかまの店が4月の終わりから5月は活動中止となった。ノートの販売は昨年よりもかなり売上げを伸ばしている。それ以外はほぼいつも通りであった。利用者と職員の昼食を担ってくれていた Cookde 愛の事業主は、体力的、精神的な理由から引退することを決め、後継者を探していた。しかしなかなか見つからないと以前から相談を受けていた。その後も後継者を見つけることができず、12月末に閉店するという結論を出した。昼食がなくなるだけではなく、お弁当配達など利用者の仕事の中で一番比重の多い事業が閉店するのはかなりの痛手となる。今後の昼食や減少する仕事をどうしていくのか、その解決策を検討することとなった。

現在 Cookde 愛で従事している人にこのまま継続して従事してくれる人がいないか、経済的なことを含め検討する余地がないか調べてみる必要があるとの監事の竹内浩一氏から提案があった。竹内浩一氏に一任することとなった。

4月から6月の各事業の会計報告が村井氏から行われた。各表について枠内に項目が記載されるようにとの監事からの指示があった。以外は特に意見、異議等はなく、承認された。

#### 議案2. 今後の活動、研修会、講演会等の実施予定確認の件

①古武術介護講習会            新型コロナ感染防止のため中止

③研修旅行                        新型コロナ感染防止のため中止

④防災講習会                      9月23日（祝）実施予定

場 所：特定非営利活動法人で・あ・い事務所

講 師：NPO 法人サポートネットワーク 阪口青葉さん

日本防災士機構防災士、応急手当普及員

講師料    10,000円

講演会は時間を二時間に短縮して行う

- ④ 餅つき大会            であいランド内で規模を縮小して行うことを検討中
- ⑤ 忘年会                    検討中
- ⑥ 人権講演会            武田達城さん講演会未定
- ⑦ 人権講演会            小林敏明さん講演会未定

以上、今後の活動、講習会について承認された。

### 議案 3. その他報告事項

- ① 今後の理事会の日程として、  
第3回理事会は10月31日（日）  
第4回理事会は2022年1月30日（日）  
コロナの感染状況より開催中止になることも了承された。

以上により本日の議題を終了し、議長は理事会の閉会を宣言した。

### 第3回

- 1. 日 時：2021年10月31日（日）  
10時30分から11時30分
- 2. 場 所：特定非営利活動法人で・あ・い事務所
- 3. 出席者：安東文也、小川健一郎、石原朋和、田代洋和、村井秀美、竹内浩一  
吉野いし枝、中野正江、加味保子、中谷宏子、竹内裕子            敬称略
- 4. 報告及び審議事項
  - ①活動報告及び会計報告（7月から9月）の件
  - ②今後の活動、研修会、講演会実施予定の確認の件
  - ③その他報告事項
- 5. 議事の経過の概要及び議決の結果

理事の出席及欠席者を確認し、理事会が成立することが確認された。互選により竹内裕子氏を議長に選び、上記の議案について逐次審議することになった。議長より議事録署名人を2名選任する旨を諮り、田代洋和氏と村井秀美氏からの挙手があり、承認された。

### 報告及び審議

#### 議案 1. 活動報告及び会計報告（7月から9月）の件

理事の竹内氏から報告があった。

5月から利用を再開したUさんは随分と落ち着いてきている。自宅で大声を出す事もあるが、であいランドの中では自傷行為もなくやせ細った体ももともどりつつある。食欲がありすぎることは少々心配な部分もあるが、食することで精神的に落ち着くのであれば、今は様子を見ることをお母さんとも共有している。7月からはグループホームでの宿泊体験も始まった。10月には決める予定だったが、10月26日腕を骨折ししばらく延期になった。手術も無事に終わり、今はリハビリに通うことになる。また、自立を目指していた女性利用者2名の家が見つかり、10月から始めるべく準備を始めた。サポート派遣時間の獲得に日々交渉を続けている。本人は新しい生活への期待が大きく自分たちなりに準備を行っている姿が楽しそうでほほえましい。

## 理事の村井氏からの報告

前回からの懸案事項のCookde 愛の閉店問題が未解決のままである。調理人募集のチラシを配り、職安へも登録しているが、見つからずにいる。同時にこれまで利用者の仕事として費やしていた時間の配分を考え直さなければならなくなっている。お弁当配達以外の仕事を探さなければならない。工賃が減少することが無いように、新たな収入源をみつけなければならない。事業所内の厨房を改装することも視野に入れ、業者に見積もりを出してもらうことを提案した。

生産活動では、なかまの店が再開されたが、まだコロナの影響があり、客足が伸びないとの報告を受けている。ただ、出店すれば必ず売上があるので、どんどん出店していくようにしている。厳しい状況ながらも利用者に夏季賞与を出すことができた。9月にはコロナ感染対策に配慮しながら時間を短縮し、飲食は行わず防災講習会を開催した。次年度4月から利用を開始する土岐さんが親子で参加してくれた。前回参加してくれた利用者の家族は防災講習を受けることが楽しくなったと再び申し込んでくれた。

提案報告については異議なく承認された。

### 議案2. 今後の活動、研修会、講演会等の実施予定確認の件

- 1 餅つき大会 であいランドのイベントとして小規模で実施
- 2 クリスマス会 検討中
- 3 人権講演会小林敏昭さん 中止
- 4 人権講演会武田達城さん 少人数で実施

### その他の報告事項

・今後の理事会の日程として、

第4回理事会 2022年1月31日(日)

コロナの感染状況により開催中止になることも了承された

以上により本日の議題を終了し、議長は理事会の閉会を宣言した。